

2010年 賃金交渉

勝ち取ろう！ 明日への活力と家族の笑顔

休活のすすめ！

みんなで統一土曜閉所運動を盛り上げよう！

- ◆2010年の土曜閉所運動キャッチフレーズが決定！
- ◆2009年11月 統一土曜閉所運動結果報告
- ◆統一土曜閉所日を利用した取り組みを紹介します
 - ・飛島建設労働組合
「嵐のあとの豊島園は貸し切り状態?！」
 - ・フジタ職員組合
「閉所現場でのスタンプラリーに小学生が大はしゃぎ！」

出前講座：私が伝えた「建設産業の魅力」

無報酬業務解消へ次の一手

皆さんの声を力にかえ、地方整備局へ提言していきます！

ちょっとひといきのページ

「ルパン三世」を唄ったあの人に会いに行く！

今こそ力を合わせて新たな扉を開けよう

続・東西組合細見8—浅沼組職員組合

クロスワードタイム 他

2010年 賃金交渉

はじめに

私たちの賃金は、一般的には生産性（付加価値の配分）を上限、生計費を下限として労使交渉により決定されます。よって、私たちは賃金交渉を行うにあたり、生計費をしっかりと把握しておくことが非常に重要なことと言えます。

では、生計費はどのように捉えればよいのでしょうか。

生計費には2つの捉え方があり、一つは、実際にかかっている費用の実態を、家計調査などから把握する実態生計費。もう一つは、望ましい一定レベルの生計を営むためにはいくらの費用が必要かということを理論的に算出する理論生計費です。

実態生計費は現実の収入によって規制された生計費ですから、賃金が低い時、それに応じて行われる生活レベルは、望ましいと思う状態よりも低い位置に抑えられてしまいます。つまり、実態生計費は、実際の賃金と生計費の分析に活用するもので、今後の賃金のあり方を考える上では有効な資料とはならず、理論生計費で捉える必要があります。

日建協では、私たちのあるべき賃金水準を「日建協個別賃金」として示していますが、この日建協個別賃金は、理論生計費に基づいて検討し作成されたものです。

今回のコンパスでは、まず実態生計費から私たちの生活実態を分析し、次に理論生計費にもとづく2010年日建協賃金交渉基本構想について説明していきます。

実態生計費からみえる私たちの暮らしぶり

日建協では、毎年、約330世帯に協力いただいて、一ヶ月の家計収支状況を調査する日建協家計調査を実施しています。また、2009年11月に実施した「時短アンケート」では、生活実態・意識調査を含んでいます。前回行った2006年の調査と比較して、組合員の暮らしぶりについて見てみましょう。

配偶者の収入で家計をサポート

まず、3年間の家計状況（表-1）を見てみると、配偶者収入とその他の収入を含めた家計全体の実収入は年々微増しています。しかし、2009年の世帯主勤務先収入を2008年と比較すると、超過勤務手当では増加していますが、所定内賃金が減少したため、全体として減少しており、実収入の微増に貢献したのは、配偶者収入の増加だと言えます。このことは、具体的な家計の対処方法（表-2）で、「配偶者が働きに出

	2007年	2008年	2009年	2007年から 2009年の 名目伸び率	2008年から 2009年の 名目伸び率	2007年から 2009年の 実質伸び率
調査件数	246	225	234			
世帯主平均年齢	38.5	38.6	38.7			
実収入計	532,293	541,445	545,667	2.5	0.8	2.7
世帯主勤務先収入	503,549	511,829	509,819	1.2	-0.4	1.4
（所定内賃金）	437,505	439,403	435,784	-0.4	-0.8	-0.2
（超過勤務手当）	47,790	52,933	55,400	15.9	4.7	16.2
（通勤手当、臨時収入）	18,253	18,606	18,146	-0.6	-2.5	-0.4
配偶者の収入	17,824	20,123	27,176	52.5	35.0	52.8
その他の収入	10,919	9,493	8,672	-20.6	-8.6	-20.4
実支出計 A	441,996	425,162	431,899	-2.3	1.6	-2.1
消費支出計	343,922	324,212	330,267	-4.0	1.9	-3.8
飲食費	86,217	83,269	83,061	-3.7	-0.2	-6.0
住居費	22,427	23,587	23,780	6.0	0.8	6.0
光熱・水道費	18,456	18,433	17,019	-7.8	-7.7	-7.0
家具・家事用品費	8,100	8,220	8,784	8.4	6.9	11.8
被服及び履物費	10,279	9,796	9,789	-4.8	-0.1	-4.1
保健医療費	9,198	8,190	9,754	6.0	19.1	6.3
交通通信費	55,948	53,143	53,124	-5.0	0.0	-2.5
教育費	47,549	45,109	44,733	-5.9	-0.8	-7.3
教養娯楽費	26,074	22,429	27,620	5.9	23.1	9.7
その他の消費支出	59,675	52,036	52,605	-11.8	1.1	-11.8
非消費支出	98,074	100,950	101,632	3.6	0.7	3.8
可処分所得	434,219	440,495	444,035	2.3	0.8	2.5
家計収支（黒字）	90,297	116,283	113,768	26.0	-2.2	26.2
保険純増	33,568	33,843	31,795	-5.3	-6.1	-5.1
負債純減	56,108	58,460	61,289	9.2	4.8	9.5
計 B	89,676	92,303	93,084	3.8	0.8	4.0
生活費計 A+B	531,672	517,464	524,983	-1.3	1.5	-1.1
実際上の黒字	621	23,981	20,684			
公課負担率（%）	19.5	19.6	19.9			
平均消費性向（%）	79.2	74.4	75.2			

（注1）2007年から2009年の実質伸び率の算出は名目伸び率を消費者物価上昇率でデフレートしたものの、十大費目は各費目の上昇率、それ以外の支出と収入は、「持家の帰属家賃を除く総合」の上昇率を使用しています。
（注2）公課負担率と平均消費性向は、各世帯の家計項目から算出した値を平均しているため、表中の数値（平均値）から計算した値とは一致しない場合があります。

表-1 3年間の家計状況（4人世帯） 出所：2009年日建協家計調査

	出るようになった	配偶者が働きの 保険を解約した	満期前に定期や お金を借りた	親や親戚から 換えを行なった	住宅ローンの借り 換えを行なった	教育費を減らした 塾やめたりして 教育費を減らした	返済額を減らした 住宅ローンの 貸し付けを受けた	教育費のための その他	計
4人世帯	48.9	26.1	14.8	12.5	11.4	5.7	4.5	11.4	88
(2007年)	37.9	24.1	12.6	17.2	9.2	9.2	3.4	8.0	87
30～34歳4人	60.0	20.0	20.0	－	－	－	－	20.0	5
35～39歳4人	36.6	34.1	19.5	9.8	9.8	4.9	－	12.2	41
40～49歳4人	57.5	17.5	7.5	17.5	12.5	7.5	10.0	10.0	40

表-2 具体的な家計の対処方法（複数選択） 出所：2009年家計調査

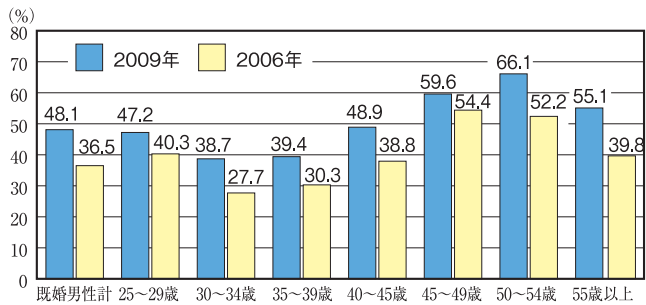


図-1 共働きをしている割合 出所：2009年日建協時短アンケート

るようになった」が最も多く回答されていることから伺えます。

実際、共働きをしている割合（図-1）は、2006年と比べ、全体で11.6%も増加しており約半数の世帯が共働きとなっています。特に、50代の世帯で共働きの増加が顕著となっています。

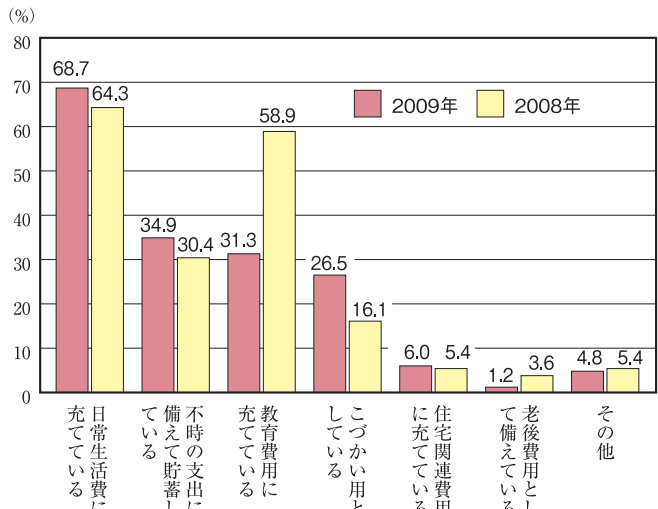


図-2 配偶者の収入の使途（4人世帯） 出所：2009年日建協家計調査

では、配偶者の収入は何に使われているのでしょうか。（図-2）。最も多いのが「日常生活費に充てている」で、以下、「不時の支出に備えている」「教育費用に充てている」となっています。

他の項目にくらべ「日常生活費に充てている」との回答が圧倒的に多くなっていることから、配偶者の収入が生活レベルの向上というより、生活レベルの維持に使われ、日常の家計をサポートする上で欠くことのできないものとなっていることがわかります。

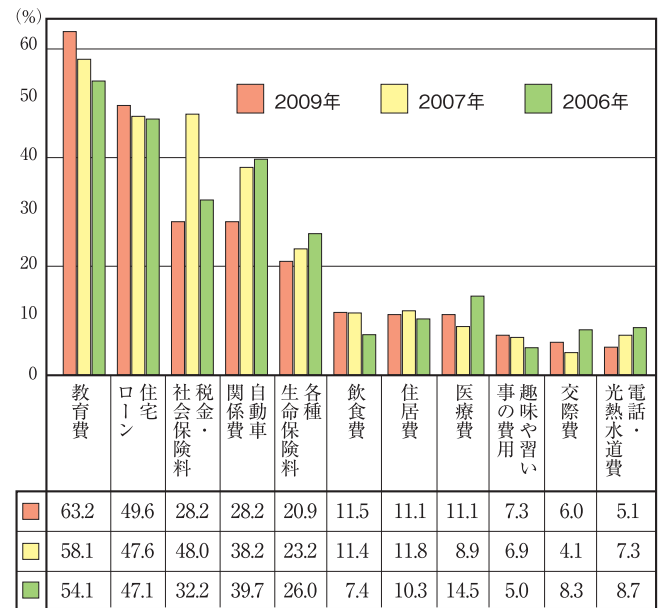


図-3 家計の中で特に負担に感じる費目（3つ以内選択）（4人世帯） 出所：2009年家計調査

家計の中で負担に感じているのは

次に、家計の中で負担に感じている費目（図-3）について見ると、「子どもの教育費」が最も多く、負担に感じる人の割合は毎年増加しています。

また、赤字家計となった世帯にその理由（図-4）を聞いたところ、「収入が減った」が最も多く、次に「子どもの教育費が増えた」となっています。節約することが難しい教育費が家計の中での大きな負担となっています。

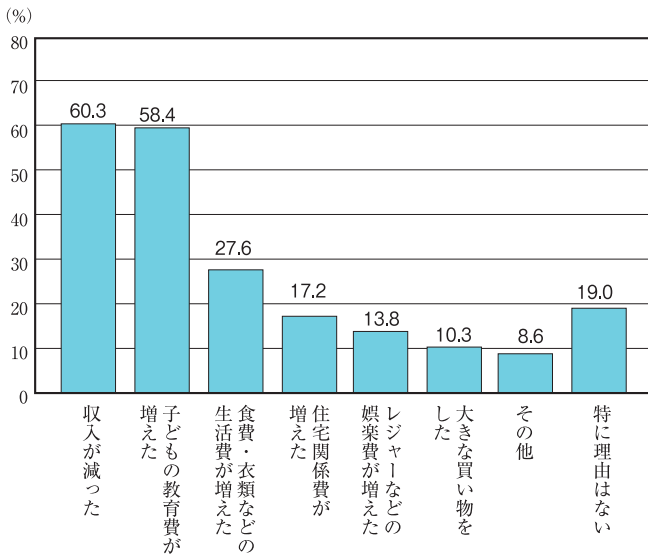


図-4 貯金の引出しや借金でやりくりになった理由（4人世帯） 出所：2009年日建協家計調査

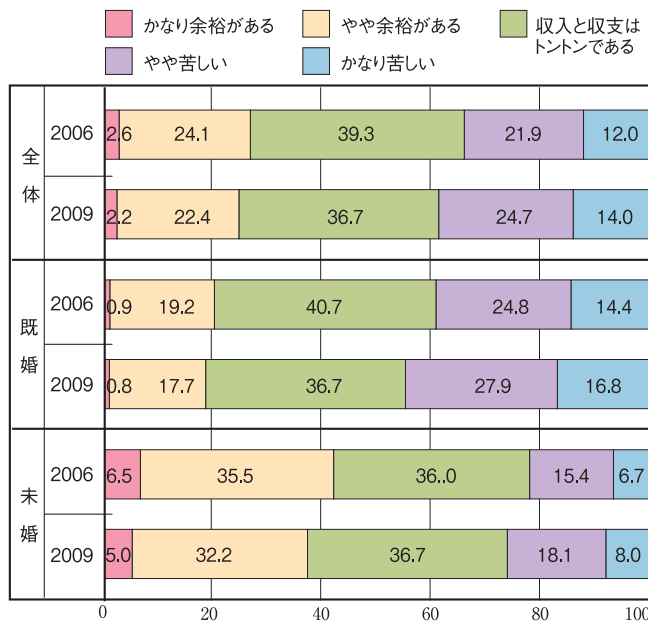


図-5 現在の暮らし（家計） 出所：2009年日建協時短アンケート

実態生計費が示していること

組合員の現在の暮らし向き（図-5）を見ると、既婚者も未婚者も3年前に比べ「かなり苦しい」「やや苦しい」が増加しています。特に、既婚者の半数近くが現在の暮らしを「苦しい」と感じています。

このように、組合員の生活は配偶者の就労による貢献と家計のやりくりによって維持されており、実態生計費は、望ましい一定レベルの生計を営むための理論生計費に比べ、かなり低水準のところまで均衡していると考えられます。

私たちは、賃金交渉において、この実態生計費が縮小均衡に陥っていることを主張し、労働の対価としての正当な賃金である理論生計費の確保を目指していかなければなりません。

2010年賃金交渉をとりまく社会情勢

2010年の賃金交渉をとりまく情勢は、昨年までとは様変わりしています。

労働者の代表である連合は、2009春闘において統一ベア要求を掲げ、労働分配率の向上、賃上げによる内需拡大を訴えてきましたが、今年は、統一ベア要求を見送り、定昇の死守に軸足を移す姿勢を明確にしています。定昇について連合は、「定昇がないと働く者の将来不安を払拭できない。定昇凍結は個人消費の落ち込み、デフレ加速の要因にもなる」と強調しています。これに対し、経営者団体の代表である経団連は、「企業の存続と発展、従業員の雇用安定が最重要課題」と位置づけ、その上で、「経営の実態を踏まえて着地点を探す必要がある」と訴え、一部企業が定昇の凍結・延期に踏み込む可能性があることを示唆しています。このように、2010春闘では、定昇をめぐる厳しい交渉が行われることとなります。

私たちの2010年賃金交渉

このように全産業的には定昇をめぐる交渉が予想されていますが、私たち日建協の賃金交渉はどうあるべきでしょうか。

建設各社の第3四半期決算をみると、多くの会社の受注が大幅に減少し、景気低迷が建設投資を縮小している現実がみられます。また、政府の平成22年度予算案において公共事業関係費が18.3%と大幅な削減となるなど、先行きも厳しいものとなっています。これらを考えると、やはり私たちも定昇維持を主眼とした賃金要求でしか組み立てられないのでしょうか。

2010年日建協賃金交渉要求基準

日建協では、1月22日にみなさんの組合の代表が集まる機関決定会議を開催し、今年の賃金交渉の方針である2010年賃金交渉基本構想を決議しました。

基本構想では要求基準について、「『建設産業で働く私たちのあるべき賃金水準』を目指し、計画的に取り組むことで加盟組合及び日建協全体の賃金水準向上につながるものとする。日建協の考える、建設業で働く私たちのあるべき賃金水準とは『日建協個別賃金水準』であり、その実現に向け加盟組合と日建協が一体となって目標に向かい計画的に取り組む必要がある。」とし、以下の要求基準を示しました。

全加盟組合は、連帯して日建協個別賃金水準の実現にむけて、賃金水準の向上に全力で取り組むものとする。

1.月例賃金について

- ・全加盟組合は、定昇確保（賃金カーブの維持）に取り組む。
- ・加盟組合は、ベースアップへも計画的に取り組む。

2.一時金について

- ・加盟組合は、生活給として納得が得られる水準への引き上げに取り組む。

3.初任給について

- ・加盟組合は、優秀な人材確保のため、他産業に見劣りしない水準として、学卒年齢22歳総合職において21万円以上の実現にむけて取り組む。

賃金水準向上を目指すのは

月例賃金でベースアップに取り組むのは、組合員の生活が理論生計費に比べかなり低い水準で均衡していることが推察でき、生活に必要な賃金水準に達していないということが挙げられます。ただ、一足飛びに理論生計費を目指すのは、今の厳しい社会情勢を考えると難しいのかもしれませんが、複数年かけて段階的にでもあるべき賃金を目指し取り組みを継続していくことが重要だからです。

一時金について、生活給として納得が得られる水準とは、年収ベースで考えて日々安定した生活を維持していくための水準を示しています。つまり、私たちにとって一時金は月例賃金では賄えていない生活費を補うための生活一時金であるからです。

初任給21万円以上を目指していくのは、優秀な人材の確保のためであり、他産業に見劣りしない水準だからです。2008年の日本経団連の新規学卒者決定初任給調査では、大卒技術系で209,752円であり、建設技術者集団である私たちにとって21万というのは他産業に見劣りしない水準だといえます。

日建協個別賃金とは

私たちの理論生計費とは、『日建協個別賃金水準』であり、私たちが望む生活をするのに生計費としていくらの費用が必要かを算出し、年齢ごとの必要な賃金を示したものです。生計費の中には、結婚や育児、住宅取得、車の購入などといった年を重ねるにつれて増加する支出があります。また、老後のための貯蓄なども忘れてはなりません。ライフステージにもとづく支出額の算出（図-6）には、諸官庁の統計データや民間調査機関のデータ、そして「日建協家計調査」などを活用して作成しています。また、各加盟組合が段階的に取

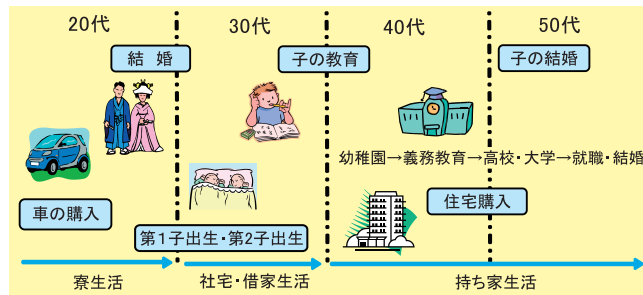


図-6 ライフサイクルモデル

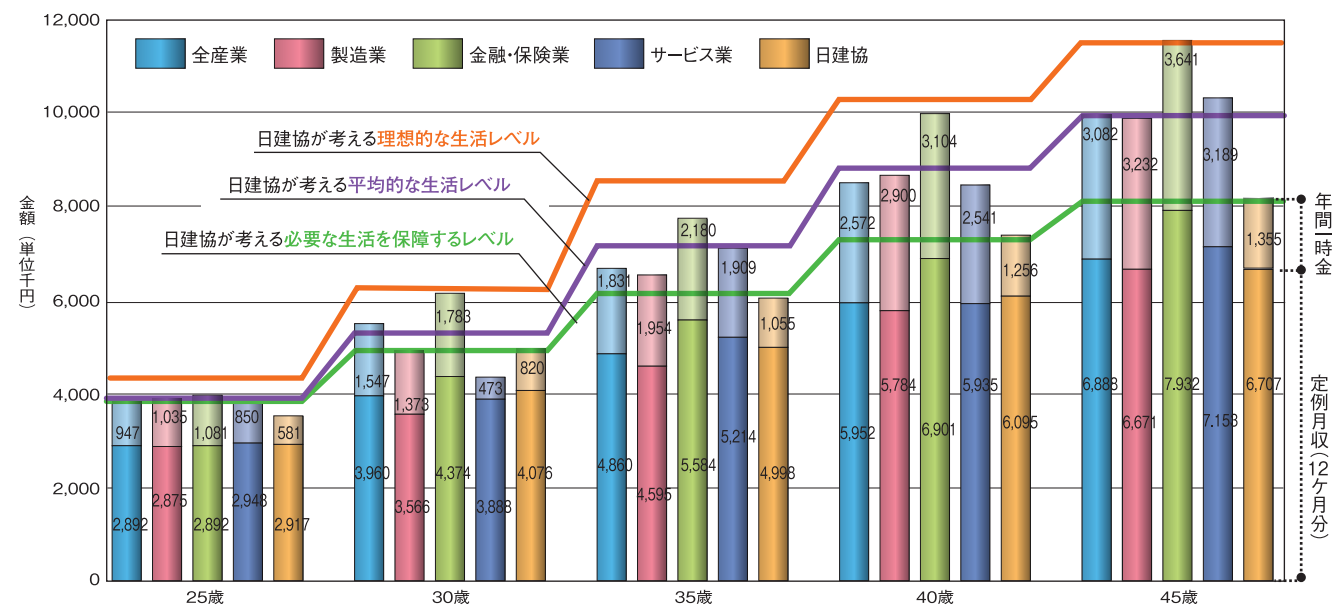


図-7 業種別年収 2008年賃金センサス(1000人以上)男子大卒正規入社

り組めるように「先行、標準、必要」の3つのラインで示しています。先行ラインは理想的な生活レベルを可能にする水準、標準ラインは平均的な生活レベルを可能とする水準、必要ラインは必要なレベルを確保する水準として示しています。各加盟組合では、生計費を根拠とした賃金水準の資料として、多くの組合が賃金交渉に活用しています。

他産業との比較

それでは、他産業と比べて建設業の賃金水準はどの程度なのでしょうか。日建協と他産業の昨年度の年収の比較（図-7）を見てみると定例月収は他産業と比較して大きく変わることはありませんが、年間一時金に関しては、大きな乖離があります。日建協個別賃金のラインから考えても、必要な生活を保障するレベル（実態生計費）に何とか届いている水準で、これ以上他産業との格差を広げないためにも理論生計費としての標準、先行ラインを目指していく必要があります。このように、年収ベースで考えると、この格差を少しでも改善し望ましい一定レベルの理論生計費を目指すため、また、他産業に見劣りしない賃金水準を確保することが必要です。そして、モチベーションを維持向上させるためにも、労働力に対する正当な対価を要求していくことで、魅力ある建設産業につながっていきます。

賃金交渉スローガン

理論生計費としての賃金を目指していくために、2010年度の賃金交渉にむけて『勝ち取るう!明日への活力と家族の笑顔』をスローガンに掲げ、取り組むこととしました。今回のスローガンには、自分の仕事に対する報酬に満足し、仕事や生活に活力を得るとともに、家族が安心して暮らせる賃金水準を実現したいという思いが込められています。

思いを伝えよう

賃金交渉は、私たちの思いを伝える大切な取り組みです。一人ひとりが「賃金」の持つ意味を真剣に考えてみましょう。組合員一人ひとりの思いと、加盟組合執行部の「組合員の生活を守る」という熱い使命感と、さらには加盟組合全体が連帯して取り組むことで、日建協の加盟組合員みんなの将来を見据えた賃金（生計費）へと繋がる大きな力になるはず。一致団結してこの2010年賃金交渉に取り組ましよう。



休活のすすめ！

I. 有給休暇取得は「みんなの迷惑」??

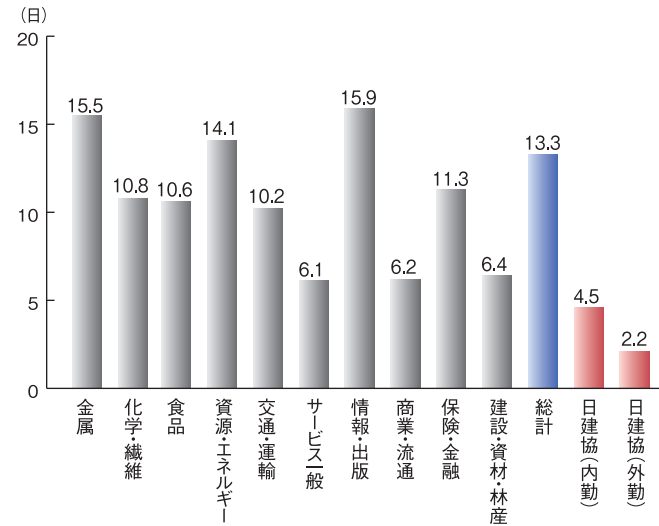


図1 産業別年次有給休暇取得日数

出所:連合労働時間に関する調査(2008年版)
日建協2009年時短アンケート

1年間で皆さんは、何日、年次有給休暇(以下、有給休暇)を取得していますか?

日建協加盟組合員の有給休暇の取得日数は、他産業に比べて極端に少なくなっています。(図1)

なぜ、私たちは有給休暇を取得しない(できない)のでしょうか?

どうやら、私たちの多くは、有給休暇を取得することにためらいを感じているようです。あなたはどうか?やはりためらいを感じますか?(図2)

ためらいを感じる点を調査すると「みんなに迷惑がかかるから」が、第1の理由として挙げられています。(図3)

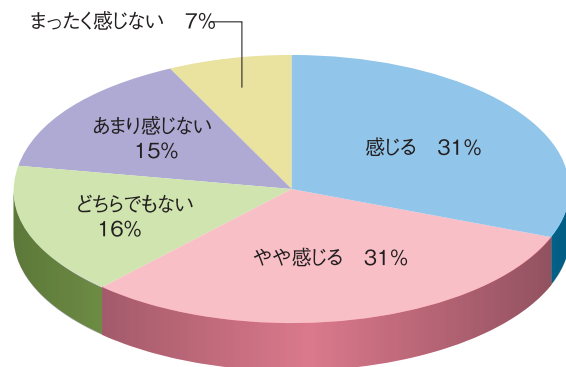


図2 有給休暇取得にためらいを感じるか

出所:日建協2008年時短アンケート

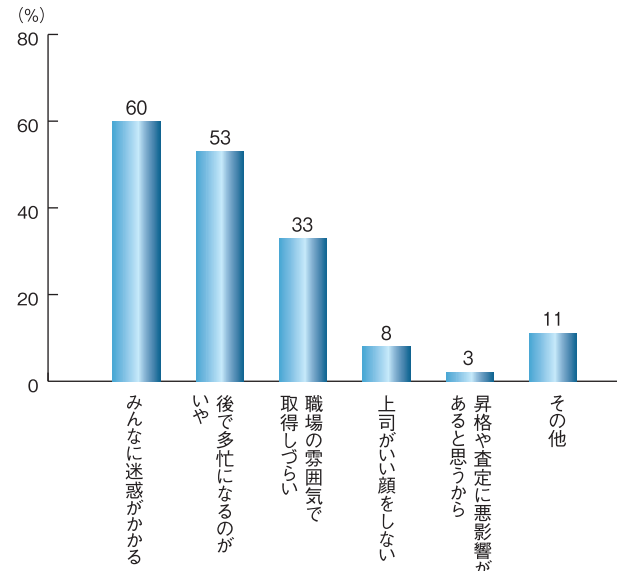


図3 有給休暇取得にためらいを感じる点

出所:日建協2008年時短アンケート

有給休暇制度は、労働者の疲労回復、健康維持・増進の他、自己啓発、地域貢献、育児、介護など仕事以外の生活を充実したものにするために設けられている制度です。また、休暇を取得することで、労働者の心身がリフレッシュしモチベーションの向上につながったり、休暇の中で得られる経験が創造的な仕事での高いパフォーマンスを生み出すなど個人の能力を高めるために重要な制度となっています。

さらに、有給休暇を取得しやすい環境を作っていく中で、職場のコミュニケーションが活性化し、協力し合う企業風土が醸成されます。また、一時的にでも担当者がかわることで普段担当していない仕事を経験させたり、業務内容を他の従業員がチェックする機会となります。

昨年からのインフルエンザの流行で、病欠された方がいる職場も多いと思いますが、このような場合でも普段から休みやすい環境が整備されていれば、業務に大きな支障はうまれないのではないのでしょうか。

このように、休暇を活かす企業風土があれば、有給休暇制度というものはみんなに迷惑がかかるどころか、労使ともにメリットのある制度なのです。

各職場においての有給休暇のメリットについてご理解いただいたところで、次は、もっと大きな視点で、有給休暇の取得推進が社会全体に及ぼす影響について紹介していきます。

II. 「休暇」から「休活」へ

2009年9月25日、観光地域経営フォーラム(代表幹事:麻生渡福岡県知事)は、未取得有給休暇完全取得の経済効果に関する試算結果を発表し、有給休暇取得推進を提言しています。

これによると、日本の労働者が未取得の有給休暇を完全取得することによって、約15兆6,300億円の経済波及効果が得られるとともに、約187.5万人の雇用が創出されるとのことです。

さらに詳しく建設産業への影響を知るため、観光地域経営フォーラム事務局に取材したところ、この有給休暇取得による建設産業への経済波及は約3,830億円と試算されたとのことでした。

提言の中には、こんなことが書いてあります。『日本人の中には「休暇」という言葉に対してマイナスの印象を持つ人がいる。しかし、休むことは暇をつくることではないし、怠けることでもない。労働から解放されて休息を得る、その上で人間として様々な「活動」を行うことである。(中略)つまり休暇を活かす「休活」は、個々人の創造力や可能性を高め、経済・地域・企業を活性化させる大きな力をもっている。「休活」は、活力ある国民、活力ある日本をつくる。(中略)わが国経済にとって、休暇改革は最後に残された切り札である。』

休み ≠ 暇、怠け

休み = 休息 & 活力の源

どうです皆さん、皆さんが休むことで、日本経済が良くなり、建設産業も恩恵が得られるんですって。なんか、魔法みたいな話、信じられますか?

実は、同様の手法で経済を回復させた事例があります。1936年、フランスのレオン内閣は、大恐慌後の長引く不況に対して「もっと働くこと」ではなく、「もっと休むこと」で立ち向かう政策をとり、全労働者に年2週間の有給休暇を保証するマティニョン法(通称バカンス法)を制定しました。その結果、フランスではサービス産業が大きく成長

し、内需主導型で経済の回復がはかられました。

余談ですが、有名な自転車レース「ツール・ド・フランス」が世界屈指のスポーツ競技大会として発展した一因は、このバカンス法によって創出された余暇の楽しみのひとつとして人気を博するようになったからだそうです。



もうひとつ、行政として休暇取得促進を図ることで、日本社会と経済の発展を促すという、休活施策を実施している観光庁の事例を紹介します。この施策は、政府が12月に閣議決定した「新成長戦略～輝きのある日本～」でも、重要政策としてあげられているものです。

観光庁の施策は、観光により内需拡大を図るとともに、休暇取得促進により企業業績を向上させ、日本社会と経済の発展を促すというものです。

休暇取得と企業業績の向上との関係について観光庁担当者は、「社員に休暇を積極的に取らせれば、社員の能力向上、モチベーション向上となる。また、業務の効率化や、企業の元気につながる。結果として企業業績は上がっていく。」とおっしゃっていました。そして、実際に休暇の取得促進で業績を向上させた事例を集め、事例集『経営によく効く「休暇」』を作ったとのことでした。

また、「これからは、ワーク・ライフ・バランスの観点からも休暇取得促進に取り組まなければならない。休暇取得促進により、日本社会全体の発展もはかれる」と言われていました。

この事例集は観光庁HPからダウンロードできますので、是非参考にして下さい。



作業所異動時休暇、有給休暇の計画的な取得

2009年度日建協では、統一土曜閉所運動とならび、作業所異動時休暇の取得推進を重点取り組みとして活動しています。年度末を向かえ、忙しい時期だと思えますが、作業所の異動が予定されている皆さんは、休暇取得の計画を立て積極的に休みを取るようにしてください。



また、ゴールデン・ウィークも近づいています。今年の暦では、休日が飛び石になっていますので、計画的に有給休暇が取得できるよう職場で話し合ってください。

4月		5月							
29	30	1	2	3	4	5	6	7	8

みんなで統一土曜閉所運動を盛り上げよう！

2010年の統一土曜閉所運動キャッチフレーズが決定！

優秀賞

しっかりワーク いきいきライフ みんなで推進！ 統一土曜閉所

ペンタユニオン
鈴木 智草さん



受賞者コメント これからも、よりたくさんの現場に統一土曜閉所運動に参加してもらいたいと思います。ありがとうございました。

意識を変えれば実現できる！ 休んで仕事の活力回復!! 「統一土曜閉所」

飛島建設労働組合
堀之内 亮さん



受賞者コメント 「休もう」と思えば、効率的に仕事をこなして「休む」に繋がれるはず。皆さんも休んでリフレッシュしましょう。

佳作

今度の土曜日にしよう！ 家族の笑顔が浮かびます。「統一土曜閉所」

宮地建設工業労働組合 大川 絹世さん

仕事イキイキ 休みワクワク 魅力・活力 「統一土曜閉所」

シミズユニオン 大垣 博さん

統一土曜閉所運動キャッチフレーズへの多数のご応募ありがとうございました。

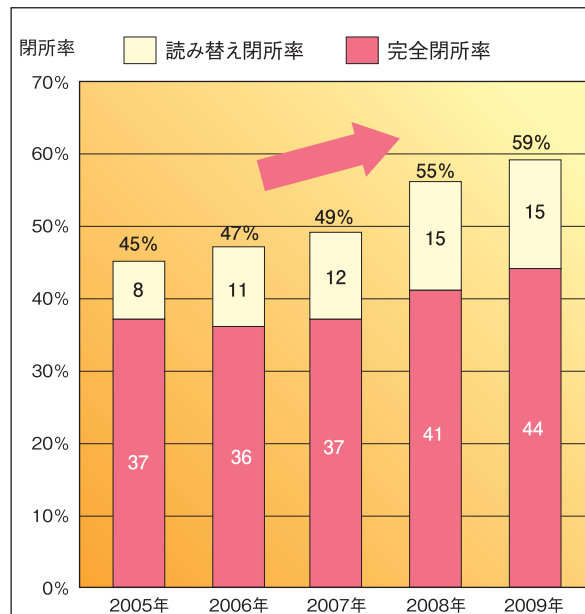
厳正な審査の結果、優秀賞2点、佳作2点が決まりましたので、発表いたします。

今回のキャッチフレーズ募集では120点の応募作品があり、作品の一つひとつから、統一土曜閉所運動推進への意欲が感じられました。

決定した優秀賞2点は、6月と11月の統一土曜閉所運動ポスターに使用いたします。キャッチフレーズとともに、また新たな気持ちで取り組みましょう。

2009年11月統一土曜閉所運動結果報告

11月統一土曜閉所運動 閉所率の推移



2009年11月の統一土曜閉所運動の閉所率は、11月の取り組みの中では、過去最高を記録しました。

当日閉所だけでなく読み替え閉所も増えています。運動本来の目的である「休むことの大切さ」を理解し、時短を進めようというみなさんの強い意識の表れだと思います。

また、建設産業全体に運動が広がるように、日建協も行政・発注者・業界団体等に取り組みの説明と協力要請を実施しています。

今後も、建設産労懇の仲間たちとともに、時短への推進力としてこの運動を継続し、ワーク・ライフ・バランスを実現しましょう。



2010年の統一土曜閉所日は
6月12日 * 11月13日

統一土曜閉所日を利用した取り組みを紹介します！

2009年11月の日建協統一土曜閉所運動では、多くの加盟組合組合員のみなさんにご参加いただきありがとうございました。統一土曜閉所運動は、「休む」ことの大切さを意識してもらうための運動です。統一土曜閉所日を利用して各種イベントに取り組んでいる加盟組合も増えています。今回はその中から二つの取り組みを紹介いたします。

飛島建設労働組合 東日本土木支部

『嵐のあとの豊島園は貸し切り状態?! ~大人も子供も笑顔がいっぱい! 土曜閉所日はみんなで遊ぼう! ~』

飛島建設労働組合東日本土木支部では、今年度の活動目標の一つに、「組合員間のコミュニケーションの充実(組織の強化)」を上げています。

その支部活動方針のもと、日建協の統一土曜閉所日である11月14日(土)を利用して、「バーベキューin豊島園」を開催しました。もちろん、会社にも協賛していただき、組合主催の統一土曜閉所運動が労使協調の運動である事を組合員全員が再確認する大切なレクリエーション大会となりました。

日頃できない家族サービスを“集まりやすい場所”で、“大人も子供も楽しめる”ことが大切であるとし、決まった内容が「豊島園を遊びつくせ!フリーライド&バーベキュー&ビンゴ大会」と何とも贅沢なものになりました。

しかし、開催日当日は朝から雨で、風も強く、開催はしたものの参加者が集まってくれるのかと、いつになく早起きをした主催者側は心配していましたが、結果的には欠席者も少なく、無事、開催することができました。

開会の挨拶を合図に始まったのが、総勢101名でのバーベキュー食べ放題、飲み放題。大人も子供も「ワイワイ、ガヤガヤ」と好きなものを好きなだけ食べて飲んで大騒ぎです。



続くビンゴ大会では、支社長からの賞品も含めた豪華商品が当たるとあって、盛り上がりも最高潮になりました。

みんなの笑い声が天に届いたのか、気づくと天気は快晴!!天気予報が悪かったせいか、来園者の出足も鈍く、いつもは長蛇の列でなかなか乗れない乗り物も、ほとんど貸し切り状態でフリーライドを満喫できました。

参加者のみなさんも、家族サービスができてだけでなく、組合員同士の結束も強くなり、日頃のストレスと疲れも嵐とともに吹き飛んだと思います。(支部書記長 手呂内 一人)

フジタ職員組合 横浜支部

『閉所現場でのスタンプラリーに小学生が大はしゃぎ!』

フジタ職組のおっぱま「追浜東町造成作業所(神奈川県横須賀市)」では、作業所に隣接している横須賀市立浦郷小学校の児童や地元住民との交流を深めるための体験型現場見学会を、閉所日である11月21日(土)に実施しました。

作業所内には250万年前の学術的に貴重な地層が露頭しており、見学にあたっては、子供達に楽しんでもらえるよう、各チェックポイントでスタンプをもらうスタンプラリー方式にして土木工事のスケールの大きさと自然が生み出すロマンを体験してもらいました。

参加者は小学生や地元住民など約320名で、工事概要の説明の後、見学開始。大型重機の前では子供達は大興奮! 記念撮影をしたり、「でっかい!どうやって動かすの?」と質問をする子供達の輝いた目が印象的でした。また、大学の先生や研究者による勉強会では、ガーネットを含むテフラ(火山灰)を実体顕微鏡で見て、「ぼくの宝物にします☆」とお土産にして持ち帰る姿もあり、普段は仮囲いの中で厳しい顔?の職員も、子供達を前に自然と笑顔になっていました。

フジタでは『築育』(建設を通じて、ものづくりの楽しさ、街



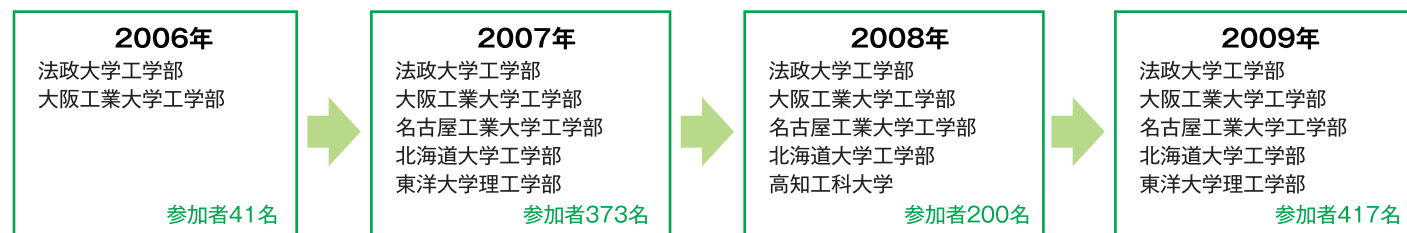
づくりの大切さ、自然環境への配慮を伝え広めていく活動)に力を入れています。『築育』と同時に普段なかなか会うことがない地域住民とフレンドリーな交流ができ、充実した一日となりました。(追浜東町造成作業所 渋谷 憲昭)

私が伝えた「建設産業の魅力」

2006年から始まった「出前講座」。講師は自らの入社した動機や入社以来の充実度の変遷、プライベートな内容を織り交ぜながら「建設産業の魅力」を紹介しています。日々の業務で「どのように感じ」、「どのように働いているか」、今回は講師の方々から伝えたかったことをお聞きました。



これまでの出前講座の実績



2009年「出前講座」講師の方々から見た出前講座

★興味をもってもらったと実感

北海道大学工学部 環境社会工学科(男性51名、女性11名)
講師:戸田建設職員組合 野崎 克博さん



今回の主題が建設業の実態を上手に伝えるということで、資料作りにも気を使いました。飾ってはいけない、うそをついてはいけない、あまりにも生々しくてもいけない…と、資料づくりに頭を悩ませました。当日出前先に訪れ、教室にて資料等の準備をして始まりの時間を待っていたところ、学生が教室に集まりだしました。「おしゃれ!」という言葉が第一に思い浮かぶと共に、このように自由で、職種もたくさんあるこの時代に果たして、出前講座で建設業の良さをうまく伝えることができるか、興味を抱いてもらえるのかという不安を覚えました。

ところが、実際講義を始めてみると、かなり熱心な眼差しで聞いており(若干うつろな目も…)、講義終了後も熱く質問をぶつけてくる学生もいました。建設業に対する興味、理解を深められたことは実感しました。

★建設業界のアピールがもっと必要

法政大学工学部 都市環境デザイン工学科(男性81名、女性13名)
講師:東洋建設職員労働組合 関根 健男さん



出前講座の依頼を受け、母校の土木工学科の現況をホームページで調べたら、土木工学科の名前がありませんでした。『都市環境デザイン工学科』となっており、学科の説明でも「土木」という表記は一切ありませんでした。やはり今のご時世、コンクリートより環境なのでしょうか。

今では、この学科から建設業に就職する学生は1~2割しかいないそうです。

しかし、私は一人でも多くの学生にこの仕事の魅力を伝えるために、現場での日常業務の他、現場で起きる喜怒哀楽、また工事完了時の達成感などを分かりやすく説明しました。質問をしてくる学生や、ゼネコンへ行きたいと言った学生もいて、日建協等の建設業界のアピールがもっと必要だと感じました。

★厳しさと魅力を伝えました

名古屋工業大学工学部 都市社会工学科(男性39名、女性7名)
講師:奥村組職員組合 荻須 美樹さん



自分が就職活動をしていた頃は、自らゼネコンで働いている人を紹介してもらって、個人的にアポイントをとらなければ仕事内容を知ることができませんでした。出前講座については、学校側からこのような機会を設けてもらい、学生にとってはとてもよい機会だったと思います。

大学の先生からは、ゼネコンは不人気と伺っていたので、ぜひゼネコンの仕事を知ってもらいたいと思いました。努力すれば女性だって現場監督になれると思います。しかし、建設業は厳しい業界なので、厳しさも伝えつつ魅力も話すことに留意しました。

学生の反応は、講義している間の話を聞く体勢はよかったのですが、講義後に質問をしてくる学生が少なかったのが印象的です。ゼネコンに興味がないのか、学生の体質が受身になっているのではないかと感じました。

★仕事に魅力がなければ人生もつまらない

名古屋工業大学工学部 都市社会工学科(男性39名、女性7名)
講師:東洋建設職員労働組合 横井 敦さん



今回の出前講座では、現場での物を作る楽しさと達成感、建設業のスケールの大きさを伝えたいと思いお話をさせてもらいました。

どのような業種に就職しても働くということは大変なことです。仕事に魅力がなければつまらない人生になってしまいます。建設業はやりがいのある仕事だと胸を張って言うことが出来ます。

その辺りを学生に伝えたかったのですが、上手に伝わったかどうか…。受講対象者が事前に分からず、出席も取らないと聞いたので、よく集まっても15~20名程度かと思っていました。しかし46名もの学生が集まり驚きました。今の学生はまじめなのか?やはり就職が厳しく、このような講座に興味があるのか?ゼネコンに興味があるのなら嬉しいのですが。

講義後の質問が少なかったのが残念です。

★自分のした仕事として残る!

東洋大学理工学部 建築学科(男性150名、女性16名)
講師:大和小田急建設労働組合 一葉 雄介さん



出前講座の依頼をうけてしかも開催の場所が自分の母校と聞いて驚きましたが、建設業界の魅力について、自分の今の状況等踏まえて説明しうまく伝える事ができればと思いました。現場施工管理の一連の作業の流れ、仕事の内容、そして建物を作るという事で充実感や達成感を得られるという魅力がある事を、うまく伝える事ができたのではないかと思います。

「ゼネコン」は現場管理だけでなく、設計・設備など一つの会社の中で行っています。それはそれだけ多くの職種がありそれぞれの役割もあります。一つの仕事だけを見てるだけでは建物は作れないのです。「ゼネコン」とは一会社で多彩な仕事ができる会社なのです。今回出前講座を行って、学生の「ゼネコン」に対する意識が少しでも変化したのかなと思います。どんな業種にも楽しい事、辛い事があります。(建設業界だけではない!)最後の質問時間では、何もなく寂しい感じがしました。学生のみなさんにはもっと積極的・自発的に建築業界について知ろうという意識を持ってもらいたいなと思います。

★ゼネコンならではの充実感と達成感を伝えたい

法政大学工学部 都市環境デザイン工学科(男性81名、女性13名)
講師:ペンタユニオン 長谷川 直也さん



2006年に初めて出前講座を行ったときは土木工学科の学生15人程度が対象でした。ゼネコンとは土木建築の構造物を造るという大枠での仕事の内容は知っていても、その組織の中での仕事とはどういうことをするのかということを知らないので、実際の仕事の内容について伝えることができればと思いました。

仕事を通して、日々構造物が出来上がっていく様を見ながら仕事の充実感、達成感が得られるという魅力を伝えることができたかと思います。

2009年に行った講義では、学科名が「都市デザイン工学科」という名称に変わり、100名程度が対象でした。講義内容は同じでしたが、学生の意識はかなり変わったと感じました。学科名が変わったことも影響しているかとは思いますが。中には土木系であることを認識し、ゼネコンも就職先の一つとして捉えている学生もいました。現場での仕事は確かに厳しいものですが、ゼネコンという会社の中での仕事といえば、先ず現場でしょう。現場で物を造ってなんぼの会社です。

★ゼネコンの仕事について知ってもらいたい

大阪工業大学工学部 都市デザイン学科(男性44名、女性5名)
講師:ハザマユニオン 河合 慶憲さん



最初に講座の依頼を受けたときは一瞬戸惑いましたが、すぐにやってみようと思いました。

その理由としては土木の仕事はテレビや新聞であまり取り上げられることはありません。取り上げられるのは事件や事故の場合が多く、ゼネコンの仕事の内容についてはほとんど知られていません。

私のように真面目にクールにこつこつと仕事をしていても、その実態が世に知られることはありません。講座の目的は建設業の魅力を伝えて、就職希望者を増やし業界の活性化や発展に繋げていこうというものでした。講座をやる前は25分という持ち時間は長すぎるなどと思っていました。

しかし、資料作りの作業に取り掛かっていくうちに25分の限られた時間ではとても話さきれないと思うようになり、本番においても少しタイムオーバーしてしまいました。

学生さんたちにとってどれくらい役に立てたかはわかりませんが、自分にとっては大変貴重な良い経験となりました。



2009年「出前講座」受講後、学生の感想…ここを変えれば、建設産業の魅力UP!!

Q: 建設産業に対するイメージは?

A: 厳しい時代が続いている、将来が見えない。
A: 工事現場で働いている、転勤ばかりしているイメージ。
A: 仕事の量が多すぎて、給料と合わないイメージ。
A: 体力的に厳しい、働く時間が長い。
A: 男社会、体育会系。

Q: 出前講座についての感想や講義以外に知りたかったことは?

A: ゼネコン職員の具体的な1日の内容を知ることができた。
A: とても魅力のある仕事だと思えるようになった。
A: 新入社員の職場での仕事の様子をもう少し詳しく知りたかった。
A: 施工管理以外の設計や研究などの仕事内容も知りたかった。

魅力UPへのヒント

建設産業全体の長期的ビジョン策定。
「建設産業」に対する誤ったイメージの払拭。
時短への取組み、ワーク・ライフ・バランスへの取組み。
女性への支援制度の充実。

寮や社宅などの情報を公開、社員教育制度を紹介。
施工管理と共に、設計・設備業務についても出前講座にて紹介。

出前講座では、講師の方々それぞれの想いで、学生にむかって熱く語りかけます。一生懸命説明するので、「発表時間が足りない」と感じる方がほとんどです。

「建設産業の魅力を多くの皆さんに知ってもらおう」という想いで出前講座を開催しています。家族や親戚にも、また作業所近隣の方々にも「建設産業の魅力」を伝えることができます。皆で魅力を伝えましょう!



無報酬業務解消へ次の一手

～皆さんの声を 力にかえ、無報酬業務解消にむけて地方整備局へ提言していきます！～

はじめに

Compass 9月号 (Vol.782) で、公共工事を対象とした提言活動「公共工事における無報酬業務を解消するために」に関する記事を掲載しました。記事では、提言活動のこれまでの経過を振り返るとともに、国土交通省の取り組みなどを紹介しました。そして、2009年4月に国土交通省が出した「設計変更ガイドラインと工事一時中止ガイドラインの順守を特記仕様書に記載する」ことに注目し、無報酬業務解消のチャンスが訪れているとお伝えしました。

日建協では、この動きをうけて2009年11月、国土交通省直轄工事に従事する組合員のみなさんを対象（回答：187件）に、作業所アンケートを実施しました。アンケートでは、無報酬業務の実態や、設計変更ガイドライン、ワンデーレスポンスなど無報酬業務の解消に繋がると考えられる、国土交通省の取り組んでいる施策の活用状況などを調査しています。

今号では、アンケートの結果から見てきた無報酬業務の現状や国土交通省の施策が作業所で活用されているか、また、無報酬業務解消にむけた次の一手を紹介しましょう。

認知度は大幅にアップするものの…

ワンデーレスポンス、設計照査ガイドラインなど、現場運営の円滑化を目指し国土交通省が取り組んでいる施策の認知度を調査したところ、2007年度、2008年度の調査時と比較し大幅に上昇していることがわかりました。（図1）

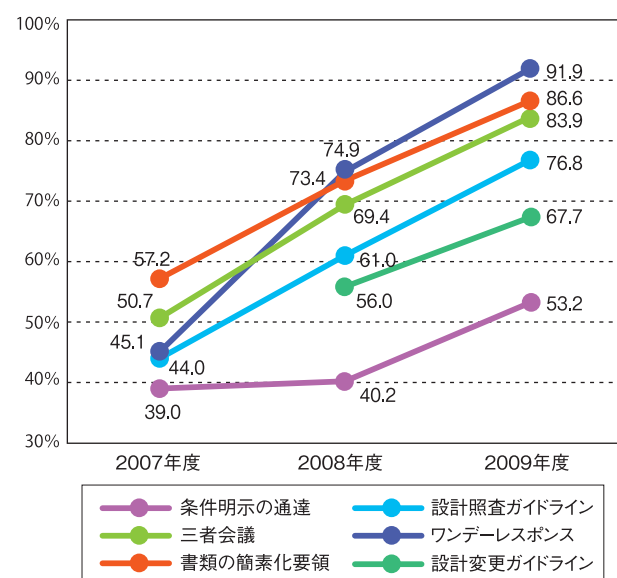


図1 国土交通省の施策認知度
（各施策を知っていると回答した割合）

アンケートでは「無報酬業務を行ったことがあるか、またそれが労働負担に繋がっているか」を調査しています。その結果約6割の作業所で、無報酬業務を行ったことがあり、労働負担に繋がっていると回答しています（図2）。この値は2007年度、2008年度に行った調査から比較して大きな変化はなく、依然として無報酬業務が行われている現状が浮かび上がっています。

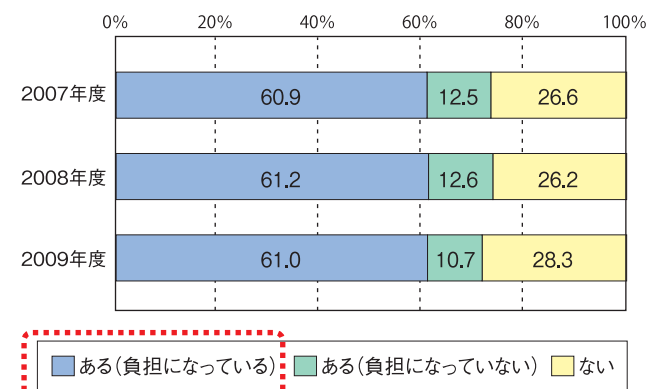


図2 無報酬業務を行ったことがあるか

残念ながら、施策を知るだけでは無報酬業務の解消に結びつかないことが示された結果と言えるでしょう。

無報酬業務の発生しやすい設計変更業務では「設計変更ガイドラインを活用できていない」とする回答が4割を超えており（図3）、適正な運用に至っていないことが裏付けられる結果が出ています。

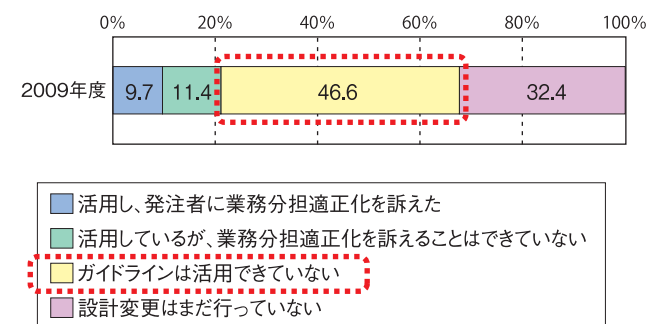


図3 設計変更ガイドラインは活用できているか

施策の本来の主旨が…

では、施策がなぜ活用されていないか？を作業所アンケートの結果から探ってみましょう。

まず、設計変更業務の円滑化を目指した設計変更ガイドラインですが、約6割の作業所で、「特記仕様書に記載されておらず、発注者からも指導などはなかった」と回答されています。（図4）

本来は特記仕様書に記載されることで徹底が図れるはずであった設計変更ガイドラインですが、実施されていないために受発注者双方での認識、活用に至っていない、ということがうかがえる結果となっています。

また、ワンデーレスポンスについても、導入によって発注者の対応が「以前と変わらない」とする割合が約4割となっています（図5）。ワンデーレスポンスの導入から時間が経過していることなどもあり、形骸化が起きていることが危惧されます。

ワンデーレスポンスの本来の主旨である、「迅速な回答によって受発注者間のコミュニケーションに繋げる」という意識が受発注者ともに薄れてしまっていることがうかがえる結果であり、改善が必要です。

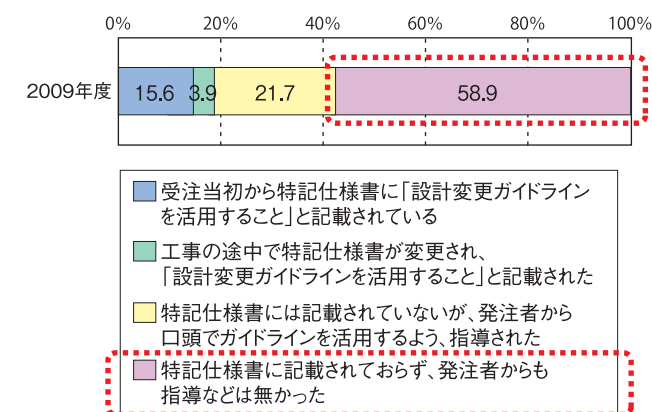


図4 設計変更ガイドラインに対する発注者の対応

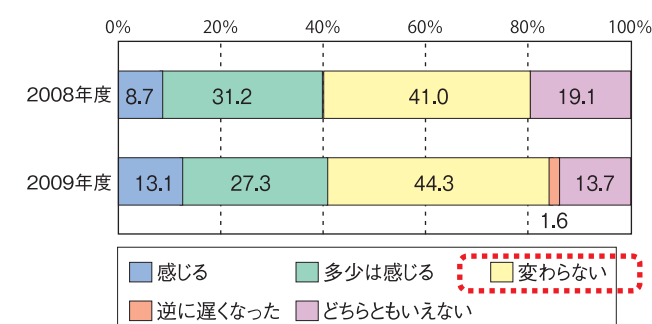


図5 ワンデーレスポンスにより、発注者の対応が速くなったと感じるか

提言活動を開始しました

日建協では、より施策を活用するために、地方整備局に対する提言活動を行っています。地方整備局に対する改善提案としては、設計変更ガイドラインの受発注者間での徹底や、ワンデーレスポンスに対する意識付けを目的とした提案を策定しました。その提案の内容をご紹介します。

地方整備局への改善提案

- 国土交通省の施策活用のため、工事に関する相談窓口を各地方整備局に設置すべきである。また、窓口に寄せられた質問と回答は、ホームページにQ&A集を掲載するなど広く公開し、受注者側に周知すべきである。
- ワンデーレスポンス活用のため、工事打ち合わせ簿に発議日とともに回答希望日を記載するようにすべきである。
- ワンデーレスポンスへの意識を高めるため、対象工事であることを特記仕様書に明記すべきである。
- 設計変更ガイドライン活用のため、設計変更ガイドラインの指導などを受注者に実施すべきである。
- 設計変更ガイドライン記載事項の徹底や受発注者間の責任区分を確認するため、受発注者双方が集まる三者会議などでガイドラインについて勉強会などを開催すべきである。

このように、アンケートから得た改善提案をもとに今、各地方整備局への提言活動を行っています。日建協は皆さんからいただいた声を力にかえ、無報酬業務解消にむけて取り組んでいきます。



地方整備局への提言活動の様子

私たち受注者も意識を変えることが必要

そして最後に、無報酬業務解消のためには私たち受注者も自らの意識を変えていくことが重要です。まずは、どこまでが受注者の責任区分なのかを正確に知ることが必要です。その上で、受注者の責任範囲を超える業務を依頼された場合には、発注者とよくコミュニケーションを取ることが大切です。

発注者も受発注者間に存在する片務性を問題視しており、無報酬業務解消は実現困難な問題ではなくなりつつあります。あとは私たち受注者が、国交省の施策をうまく活用して声を上げていくことが無報酬業務解消にむけた大きなキーポイントになるのではないのでしょうか。

無報酬業務解消にむけて、最後のワンピースを握っているのは、わたしたちです。

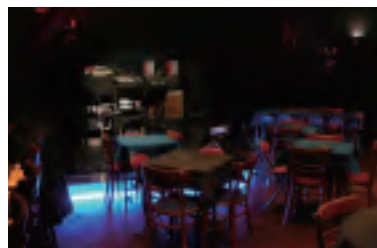
『ルパン三世』を唄ったあの人に会いに行く!

～ 神戸の街へ チャーリー・コーセーさんを訪ねて ～

今や日本のアニメキャラクターとして知らない人はいないと思われるルパン三世は、今から30年以上前の1971年10月24日に放送が開始されました。低視聴率のためにわずか半年で打ち切られた(通称)1st.シーズンですが、この“緑色のジャケットを着ていた”頃のルパン三世は、その後2nd.&3rd.シーズン、劇場版やTVスペシャルが数多く作られた今なお「特別の存在として」数多くの人々に愛され続けています。なかでも、故 山田康雄氏の軽妙洒脱な台詞回しと共に当時のメイン視聴者である子供たちに大きなインパクトを与えたのが、クールな中にも哀愁と甘さを感じさせる魅力的な声色で唄われた番組のオープニングとエンディング・テーマでした。これらを唄われたのがチャーリー・コーセーさんです。今回は、日ごろCompass読者の皆さんからリクエストの多かったスポット紹介として、毎晩チャーリーさんご自身の演奏が披露されるという神戸三宮にあるLIVE MUSIC BAR「Charlie's」へ取材に行ってみました。

◎ 緊張しながら・・・入店

お店は阪急線三宮駅より、多くの飲食店が立ち並ぶ北野坂を北へ抜け、中山手通りに出て西へ曲がり、すぐの場所にあります。緊張しつつドアを開けて2階へ上がり、店へ入ると、「いらっしゃい。お好きなところへどうぞ。」とチャーリーさんが笑顔で迎えてくれました。店内はテーブル席とカウンター席、奥にライブスペースがあります。カウンターに腰をかけると、赤ワインの入ったグラスを片手に、チャーリーさんが「どちらからですか?」と気さくに声をかけてきてくれました。話をすると、このチャーリーさんのお話に関西ノリで本当におもしろいんです!(誌面の「色々な」都合上、載せられないのが悔しい)一人で来て緊張していたこちらの気持ちもすっかりほぐれました。見ていると他のテーブルに着いたお客さん



にもチャーリーさんは話しかけています。お店ではリラックスして音楽を楽しんでいてもらいたいというチャーリーさんの暖かい気遣いがこちらにも伝わります。



店内では食事もできます。フードは全てチャーリーさんの手作りで写真の焼飯は絶品!お奨めです。また、オリジナルカクテルには「ルパン三世」「次元」「不二子ちゃん」などのお馴染みのキャラクター名が。写真はルパン三世と不二子ちゃん。HPで全種類を公開していますので、ぜひご覧ください。

◎ 演奏がスタート!

しばらくしてチャーリーさんがステージで愛機「ポール・リード・スミス」を手にしました。いよいよ演奏のスタートです。セットはブルージーなロックがメイン。チャーリーさんの魅力的な歌声が店内に響き渡り、青いギターボディがステージライトに映えます。ライブは、時折ジョーク交じりのMCを挟みながらカジュアルな雰囲気

進み、そして・・・『あしい～もとにい～♪』ルパン三世のエンディングです。「あの歌声だ!」抑え目のアレンジとは正反対にこちらの興奮はレッドゾーン。そしてその後、カリブソ風にアレンジされた「スタンド バイ ミー」へと続き、最後は「サービスです」との笑顔からルパン三世のオープニングテーマへ。店内の拍手とともにステージは終了です。「贅沢だあ!!」



鳥のシルエットを象ったインレイが特徴的なポール・リード・スミスを奏でるチャーリーさん。同社独自のピックアップシステムが装備されているため様々なサウンドをアウトプットできると、ネックが細いため握りやすい点が気に入っているそうです。チャーリーさんにとってギターは、女性の宝石と一緒に、見ると欲しくなるからあまり楽器店には行けないとか(笑)

◎ そしてお店を後に・・・

耳もお腹もすっかり満足し、「また来てくださいね。」というチャーリーさんの笑顔で店を後に。思えば、番組のBGMを担当した 故山下毅雄氏の旋律を、時に絶妙なアドリブを交えグルーヴ感溢れる楽曲へと変えたチャーリーさんの歌声は、スタイリッシュなルパン三世の世界観の構築に大きく貢献していました。当時の子供たちがルパン三世の世界にすんなり入っていったのも、何よりチャーリーさんの「大人っぽくて格好良い歌声」があったからこそだと私は思います。

「たまには音楽を聴きながら、ゆっくり飲みたいな」とお考えの方は、ぜひ「Charlie's」のドアを開けてみてください。きっとそこでは気さくなマスターが、最近流行の「ボカロ」モノでは決して味わうことのできない「生の音楽」の魅力で皆さんを笑顔と共に迎えてくれるでしょう。チャーリーさん、素敵な夜をありがとうございました!



LIVE MUSIC BAR「Charlie's」
兵庫県神戸市中央区中山手通り
1-12-4
TEL:078-332-1401
http://www.charlie-kosei.com/

レコードにサインもらっちゃいました!

STOP PRESS!! 4月11日 神戸ウィンターランドでチャーリーさんのLIVE決定! 詳細はチャーリーさんのHP内BBSを!

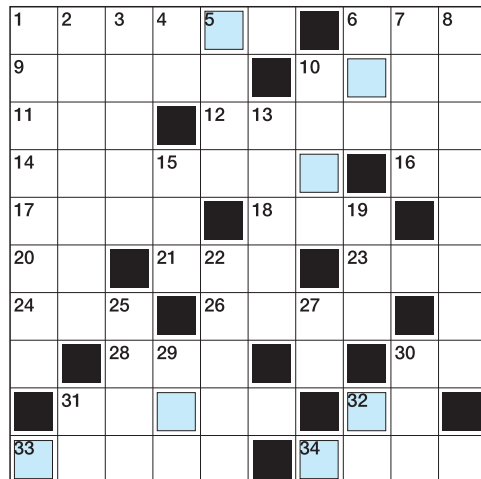
クロスワードタイム

暖冬といわれたこの冬ですが、寒い日が続いています。風邪は大丈夫でしょうか。そろそろ花粉の気配も…。暖かい春を期待しつつ、クロスに挑戦してみませんか。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合名、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切: 4月10日(月) ■宛先: 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係 (Mailはこちらへnikkenkyo@nifty.com)

ヒント:

そろそろ盛り上がってきましたネ。



ヨコのカギ

- 3月3日は何の節句でしょうか?
ちなみに、5月5日は端午の節句です。
- チョコレートやココアの原料です。
- 物事の道筋や道理をつける必要がないこと。
「○○○○におもしろい」。
- 沖縄特産の焼酎の一種。
- 食べ物を蒸すための道具です。
- 国会や地方議会などで、議決権を有する者によって行われる政治。
- スペイン語やポルトガル語が用いられる、中南米の呼び名。
- 最近、安くておいしいと評判のチリ産のワイン。
「アナ○○」。
- 神社の神殿を建て替える時、神体を移すこと。
- 竹を売る店、または売る人。
- くぼ地に自然に水がたまったり、地面を掘って水をためた所。
- 池袋を擁する、東京23区の西北部に位置するのは、「○○区」。
- 舞台に向かって左の方のことを言います。
- 手数料や税金などを納めたことの証明として、書類などに貼る法定の紙片。
- 真実の心。または、偽りや飾りのない心。
- カツオやブリなど、魚肉の黒ずんだ部分。
- 自動車を英語で言うところ?
- 1945年「時の終わるまで」が初のミリオンセラーになった、フランク・シナトラと並ぶアメリカン・ポップスの大御所。
- 下水や雨水などが流れる、小さな水路。
- 首都マニラがある、フィリピン諸島最大の島。
- 興行として行われる、ショー的要素の大きいレスリング。

タテのカギ

- 「腐食の構造」や「人間の証明」などで知られる推理作家。
- 悪い箇所や異常はないかを、目で見て検査すること。
- エンジン機関で、燃料が異常燃焼を起こし、カナヅチで叩くような音を発すること。
- 小中学生を対象とした児童書、「世界7不思議ファンタジー」シリーズの中の一冊。キャサリン・ロバート著の「○○とレッドのピラミッド」。
- 1カ月を単位とする約束や契約のこと。
- 遠隔地間の現金輸送の代わりに、手形や小切手、証書などで債権や債務を決済する方法。
また、その手形や証書。
- 野生の鴨を呼び寄せて、猟をするために設けた池。
- 独創性や創意などを英語で言うところ?
- くす粉やかたくり粉などのとろみをかけた料理。
- 鶏卵にしょうゆや砂糖などで味付けをして粒状になるまで炒めた料理。
- 野球で、セーフの反対と言えば。
- 「神社」の意の和語的表現。
- 同じ系統・類型の2つの学校。
- 炭火をおこしたり、煮炊きをするための簡便な土製のこんろ。
- 東の方から吹いてくる風。ひがしかぜ。
- 美術や芸術を英語で言うところ?
- 欧米の影響を強く受けて悪く感化されること。
「西洋○○○」。
- メキシコやコロンビア、フィリピンなどの貨幣単位。
- 水が混じって柔らかくなった土。

No.784クロスワード 正解と当選

ハ	ツ	モ	ウ	デ	エ	ゴ	コ	ロ
ル	ネ	ッ	サ	ン	ス	サ	コ	ツ
ヒ	ナ	イ	ジ	ド	リ	ノ	ジ	
ヒ	ゴ	ベ	ン	マ	ロ	ニ	エ	
シ	ロ	ボ	ウ	リ	グ	ア		
シ	カル	タ	ブラ	ック				
ヨ	コ	イト	シ	ツム	ア			
ク	イ	ケ	チ	ノ	リ	カラ		
ブ	イ	ヤ	ク	ブ	ガイ	ヒン		
ツ	キ	シ	マ	エ	ク	ボ	グ	

答えは「箱根駅伝(ハコネエキデン)」でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。次の方が当選されましたので、追ってクオカードをお送りします。またぜひぜひご応募くださいますようお願いいたします。お待ちしております。

高山慎介(青木あすなろ)、国枝謙次・谷岡重司(アサヌマ)、吉岡 健(安藤)、池田 博(奥村)、田牧啓史・鈴木了美(鴻池)、斎藤茂樹(銭高)、藤井一宏(大豊)、谷本真由美(大和小田急)、福田隆久(鉄建)、山野井基樹(東鉄)、後河内枝理子(戸田)、鈴木秀幸(飛鳥)、今 優子(中山)、秋田雅人・杵築秀征・浜田聡樹・牧 知美(西松)、嶋村吉晃・浅井喜男(JS)、川田ひとみ・川上陽子(ペンタ)、上園洋右・竹中 一(松村)、松林富裕子(馬淵)、麻植亮平・岡田和子(丸彦)、川戸三郎・富永祐子(横河) <敬称略>

もや 舐い

「棚がひっくり返って商品が落ちているよ、お店の人は片付けが大変だろうなあ」駅まで10分くらいの通勤路、途中にあるコンビニエンスストアを横目に見ながら思った。

私は1995年1月当時、大阪支店に配属され伊丹空港近くの社員寮から京都にある作業所まで通勤をしていた。早朝、最寄り駅に到着したが、待てども電車は来ない。仕方なくホームで待つことにした。30分くらい待っていると、駅員がホームに梯子を掛け始めた。「何事か」と思うと、駅員を先頭に通勤客が高架線路上を、こちらに向かって歩いている姿が見えた。電車運転再開のめどは立たず、仕方なく寮に戻った。台から落下した部屋のテレビは破損していたが、放送は見られた。この時はじめて兵庫県南部に震度7の激震が襲ったことを知った。災害現場を目の当たりにした時の衝撃は今でも忘れられない。

震災での建物被害が検証された結果、病院・学校など被害の少なかった建物は建築基準法が厳しくなった1982年以降の建物であったことが分かった。この教訓から行政は、災害に対し「安全で、安心できる公共施設」を目指し、「公共施設の耐震改修」を指導することになる。平成21年6月の文部科学省発表の資料によると、公共学校施設は約125,000棟あり、67%は耐震性が確認されている。しかし残り33%は未診断、耐震性なしということである。震災から15年が過ぎているのに「未診断」という結果自体があることに驚く。

震災から15年が経ち、建設産業は復興に尽力した。街並みは何も無かったように新しい姿に変わった。(安室)

編集後記

いよいよ3月。もうすぐ春ですね! 3月と言えば、そう、賃金交渉の時期です。賃金交渉は組合活動のなかでも最も重要な活動です。組合員のみなさんが今一番知りたい情報を、ということでCompass3月号では「賃金交渉」を特集記事としてとりあげました。

私たちを取り巻く社会情勢や家計の現状、そして私たちが求める「あるべき賃金水準」とはいくらなのか、という内容をたくさん盛り込みました。本格的な交渉を目前にひかえ、必要な情報をきちんと収集し、賃金交渉に向けて意識を高めていきましょう。

もう賃金交渉ポスターを目にした方も多いと思いますが、今年のキャッチフレーズは「勝ち取ろう! 明日への活力と家族の笑顔」です。春の訪れとともに、たくさん笑顔の花が咲くように頑張っていきたい。また、今号でとりあげた「休活のすすめ!」はいかがでしたか? 「就活」、「婚活」という言葉が流行りましたが、次は「休活」をみんなで流行らせましょう!

「今こそ力を合わせて 新たな扉を開けよう」～魅力ある職場の創造に向けて～ 浅沼組職員組合

1724年(享保9年)、柳沢藩の柳澤吉里は甲府から大和郡山に幕府から転封を命じられ、その時に、浅沼仁左衛門が随伴し、以後浅沼家は柳沢藩の普請方として代々仕え、明治維新後は奈良付近の名刹社寺の造営、修繕等に従事しました。1892年(明治25年)に「建築請負業浅沼組」を奈良県大和郡山市で創業。当時は学校建築に力を注いでおり、「学校の浅沼」と呼ばれていました。1937年(昭和12年)には、本社をそれまでの奈良県大和郡山市から大阪へ移し、「株式会社浅沼組」が誕生しました。

今回は大阪に本部を構える、アサヌマユニオンこと浅沼組職員組合の紹介です。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ● 設 立：1957年9月15日 | ● 支 部：6支部 |
| ● 組合員数：968名
(組織率：70%) | ● 本部執行委員数：6名 |
| | ● 執行委員会：年間20回 |



左より 廣瀬執行委員、吉田副委員長、岡田委員長、谷口書記長、野田副書記長、猿橋執行委員

今年度のスローガンに込められた想いを聞かせてください。

私達を取巻く労働環境は、依然として厳しい状況であり、景気対策による効果が景気を急変させるとも思えません。しかし、このような状況ではあるものの、私たちが前向きな努力と実践を怠ってしまえば、建設業の魅力の向上はありえません。「賃金水準・企業業績・労働意欲・職場環境・生活水準」等の魅力向上は努力と実践の上に得られるものです。

今こそ、私たち一人ひとりが力を最大限発揮して一致団結し、前進して行きたいという想いと、私たちの求める魅力ある職場の創造への第1歩を「扉」という文字に託してスローガンとしました。



岡田委員長

組合として現在特に力を入れて取り組んでいる課題を教えてください。

労働時間の短縮は建設業界の永遠のテーマであり、これまで様々な対応策が講じられてはいたものの、未だ成果は十分とは言えず、特効薬のような対策はみつからないといった状況です。

当職組において、内勤者の所定外労働時間の約15%、外勤者の所定外労働時間の約50%が休日の出勤時間であることを考えれば、土曜日を含めた休日取得の取組が重要であり、休日取得日数を増やすことが所定外労働時間の削減に有効な対策となるとともに、組合員が休養・休息を得ることに繋がると思っています。

しかし、作業所では工期が厳しい等、土休取得が困難な現状から休日取得は土曜日にこだわらないことを考慮しなくてはなりません。そこで、代休・振替休日の取得率向上をめざした施策に着目して、「代休・振替取得率」を算出し、その取得率の向上を目標にしています。各部門で数値目標を定めて検証し、所定外労働時間短縮につなげていきたいと考えています。

さらに、4月の労働基準法改正の趣旨(長時間労働の抑制)についてこの機会に知ってもらい、時短に取り組むきっかけとしたいと考えています。オルグ等をつうじて、良いアイデアや取り組みがあれば広報していき、組合員一人ひとりの意識高揚を図っていきたいと考えています。また、日建協への時短アイデア大賞への応募

募も呼びかけたいと思います。

その他、改正育児・介護休業法にあわせて、制度条件の拡充にも力を入れたいと考えています。今回の法改正により、短時間勤務制度や所定外労働の免除制度が適用されるのは、3歳までの子供をもつ組合員ですが、学童保育を鑑みて、10歳までの子供を対象として運用できるよう、会社側と協議しています。

また、昨年度の労使協議の結果、乳がん検診制度が導入され、会社から2年に一度、2,000円の補助が出ることになりました。利用促進にむけて、組合として広報に努めたいと考えています。



谷口書記長

ワーク・ライフ・バランス(WLB)についてどうお考えですか？

ここ2年ほどWLBを組合内で話し合ってきた中で、徐々にその概念が浸透しつつあります。

WLBをめざしていくために、私たちの現状を考えた場合、まずはゆとりが大切です。ゆとりがあると、やりたいことも芽が出てきます。例えば、土休が2日から3日へと増えることで、何かしようという行動力も生まれてくるのではないのでしょうか。「資格を取りたい」「趣味の時間を確保したい」「家族との時間を充実させたい」など、個人の希望をかなえたいという意識が芽生え、目標を定めることで、それにむけて努力しようという意識も強くなります。理想の自分をイメージし、ビジョンを持ち、努力することで目標に近づいていく。WLBは、ライフスタイルを見直していく前向きな考え方であると思います。

取材中、一つひとつの質問に丁寧にお答えいただいた岡田委員長ですが、「とにかく、組合員と家族に明るい話題を提供していきたい」と力を込めて話された言葉が、特に印象的でした。会社にも、その想いを強くうたえかけているとのことでした。

日建協加盟組合の仲間には、「厳しい環境が続いていますが、お互いに力をあわせて頑張りましょう!」というメッセージをいただきました。

お忙しいなか取材にご協力いただき、ありがとうございました。